

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標1_子育て・教育】

施策 1-2_家庭、地域の教育力の向上

基本計画		事業番号	細事業名称
1-02-02	学校・家庭・地域の連携協働の推進	03203_01	放課後児童クラブ運営事業
1-02-02	学校・家庭・地域の連携協働の推進	03203_03	放課後児童クラブ障がい児対策事業
1-02-02	学校・家庭・地域の連携協働の推進	10330_12	地域学校協働本部推進事業
1-02-03	青少年健全育成の推進	10101_01	成人式開催事業
1-02-03	青少年健全育成の推進	10104_01	補導活動充実事業
1-02-03	青少年健全育成の推進	10330_04	放課後子ども教室推進事業

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	03203_01			
事業名(行目名称)		放課後児童対策費	細事業名	放課後児童クラブ運営事業				
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	家庭、地域の教育力の向上				
	基本計画	学校・家庭・地域の連携協働の推進	担当課	学校教育課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	就労している保護者とその児童(小学校1～6年生)	数値	30クラブ				
	手段(どうやって)	令和2年10月1日現在、市内15校区、30クラブを開設しています。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	就労又は疾病のため放課後児童クラブの入会を希望する保護者が、安心して預けられるような児童の居場所づくりに努める。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		137,497	155,029	155,029	138,111	指導員報酬 123,190千円		
財源	県・国支出金	64,183	76,118	76,118	65,997			
	地方債		0	0				
	その他	37,358	40,851	40,851	40,593			
	一般財源	35,956	38,060	38,060	31,521			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
開設クラブ数			目標値	26	30	30	30	31
			実績	26	30	30	30	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
令和元年度に4クラブを増設したが、指導員確保等に課題がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
1クラブを増設し、31クラブを開設するための予算要望をする。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
児童の健全育成と保護者の就労支援のため、今後も事業を継続して実施することが必要である。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	03203_03			
事業名(行目名称)		放課後児童対策費	細事業名	放課後児童クラブ障がい児対策事業				
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	家庭、地域の教育力の向上				
	基本計画	学校・家庭・地域の連携協働の推進	担当課	学校教育課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	就労している障がい児(小学校1～6年生)をもつ保護者とその児童		数値	5クラブ			
	手段(どうやって)	加配指導員を配置する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	加配指導員を置くことで、可能なかぎり障がい児の受け入れを行う。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		393	8,287	8,287	1,510	指導員報酬 7,000千円		
財源	県・国支出金	262	5,524	5,524	1,004			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	131	2,763	2,763	506			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
障がい児童数(全クラブ総数)			目標値	15	15	15	15	15
			実績	60	63	75	75	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
支援を要する児童が増加傾向にある。放課後等デイサービスも飽和状態であるため、保護者がデイサービスの利用を希望していても、利用することができず、結果的に放課後児童クラブを利用することもある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
インクルーシブの観点からも利用者の要望に沿った支援を行う必要がある。そのためには、支援を要する児童を安全にお預かりするために、今後も事業を継続していく必要がある。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
インクルーシブの観点からも、利用者の要望に沿った支援を行う必要があるため、今後も加配指導員を配置する必要がある。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10330_12		
事業名(行目名称)		社会教育充実費	細事業名	地域学校協働本部推進事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	家庭、地域の教育力の向上			
	基本計画	学校・家庭・地域の連携協働の推進	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	各小学校及び校区住民		数値	117,968人		
	手段(どうやって)	対象地区に学校長や公民館長などからなる地域教育協議会を設置し、学校が支援してほしい活動(学習支援や部活動、環境整備など)について集約、調整したものを地域住民からなる学校支援ボランティアが取り組むことで、地域ぐるみで学校運営を支援する体制を整備していく。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域全体で学校教育を支援するための、学校と地域との連携体制の強化を図り、多様な形態の教員支援を可能とし、子どもと向き合う時間の拡充を図るとともに、地域住民が社会教育で学んだ成果を生かす場を提供し、地域活動及び地域教育力の活性化を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		3,868	4,077	4,077	3,544	委託料 3,929	
財源	県・国支出金	2,349	2,619	2,619	2,347		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,519	1,458	1,458	1,197		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
ボランティア登録者数		目標値	2000	2000	2000	2000	2000
		実績	1002	766	700	733	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	統合する				
コミュニティ・スクールとの一体的な推進を図るため、多様な活動を実施するためのコーディネーターやボランティアの拡充が必要である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
コミュニティ・スクールとの一体的な推進を図り、地域学校協働活動のさらなる充実につなげる。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
地域住民の参画により、登下校の見守り、環境整備、部活動や授業の補助などの学校支援活動や、地域の特色を生かした様々な活動を実施することにより、子どもたちの地域住民に対する感謝や主体的な奉仕活動などのよい効果が表れた。また、地域住民が子どもたちの教育活動に目を向けることで、地域連帯感の向上につながり、さらにそこから地域の教育力向上につながっている。今後はコミュニティ・スクールとの一体的な推進を図り、多様な活動を実施するための体制整備が必要である。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10101_01		
事業名(行目名称)		青少年育成強化費	細事業名	成人式開催事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	家庭、地域の教育力の向上			
	基本計画	青少年健全育成の推進	担当課	社会教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市在住の新成人		数値	1150		
	手段(どうやって)	社会教育委員会議において、式典の開催方法、アトラクションの内容の改善等について検討を行った。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新成人が成人としての自覚を持ち、自ら楽しみかつ地域の祝福を感じることの出来る成人式典を開催する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		90	536	536	974	報償費 158 消耗品費 124 印刷製本費 70 通信運搬費 160 手数料 24	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	90	536	536	974		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
参加率		目標値	78	78	12・1月実施	78	78
		実績	62	0	12・1月実施	43	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
延長となっている令和3年成人式と令和4年成人式に向けて準備を進める。 なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、2部制で実施する。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
新成人が成人として自覚を持ち、自ら楽しみかつ地域の祝福を感じることのできる成人式典を開催するため、今後も式典の開催を継続する。 なお、新型コロナウイルス感染症対策のため希望者に対してPCR検査費用について要望する。 また、令和4年4月1日から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられるが、新居浜市は対象年齢を20歳と決定したため、令和5年以降の成人式も対象年齢は変わらない。 名称については、今後検討する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていた令和3年成人式を令和3年12月28日(火)に、令和4年成人式を令和4年1月9日(日)に2部制(午前・午後)で実施した。コロナ禍ということもあり、参加者が少ない中での式典となった。しかし、このような状況下で成人式を盛り上げるために、公益社団法人青年会議所の協力のもと、市内3か所にフォトスポット及び中央公園にモニュメントを設置した。 また、令和4年4月1日の民法改正による成人年齢引き下げに伴い、「成人式」に代わる新たな名称については、引き続き検討を行う。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10104_01		
事業名(行目名称)		補導活動充実費	細事業名	補導活動充実事業				
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	家庭、地域の教育力の向上				
	基本計画	青少年健全育成の推進	担当課	社会教育課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	少年補導委員		数値	190人(H30.4月現在)			
	手段(どうやって)	市少年補導委員総会1回、市少年補導委員研修大会1回開催する。また、より効果的な活動を目指し、四国大会等各種研修事業の実施及び参加を行う。また、補導活動を行う際に着用する「少年補導委員」のネーム入りポロシャツ・ジャンパーを計画的に購入する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	各種研修を受けることにより、少年非行の現状及び青少年の特性を理解し、補導技術の向上及び意識の高揚を図り、市内の児童・生徒等の適切な補導活動を行い、不良行為少年等の減少をはかる。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		1,061	271	271	84			
財源	県・国支出金	0	0	0	0	市長表彰記念品 30 標語入選者記念品 2 6 費用弁償 118 自動車借上料 70		
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	1,061	271	271	84			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
かけ含む。)延人数/市内児童・生徒・有職、無職			目標値	0.0198	0.0197	0.0098	0.0196	0.0195
			実績	0.0115	0.007	0.0047	0.0067	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや低い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、四国大会をはじめ、東予地区研修大会、青少年健全育成推進大会、青少年の非行被害防止県民大会が中止になり、費用弁償や自動車借り上げ料が未執行となった。また、昨年引き続き、花火大会、土曜夜市などが中止になり、特別補導の実施数も例年に比べ少なくなった。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
例年予算要求している、少年補導委員会長表彰記念品、標語入選者記念品、各大会の費用弁償等に加え、補導委員用ポロシャツの更新に係る予算要求を行う。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
新型コロナウイルス感染拡大により多くの大会等が中止となり、研修機会を得ることができなかったが、小・中・高校生を対象に、青少年健全育成に関する標語を募集した。選考会で優秀な作品を選び、表彰するとともに、ポスターを作成し、青少年の非行・被害防止全国強調月間中、小・中・高校及び公民館に掲示し、市民の非行被害防止意識の高揚、啓発を図ることができた。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10330_04			
事業名(行目名称)		社会教育充実費	細事業名	放課後子ども教室推進事業				
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	家庭、地域の教育力の向上				
	基本計画	青少年健全育成の推進	担当課	学校教育課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市内の小学生		数値	6,153人			
	手段(どうやって)	公民館等を中心とした地域社会の中で、放課後等に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進することを目的に放課後子ども教室を開設する。16教室(金子2箇所、金栄、高津、多喜浜、泉川、大生院、若宮、中萩、神郷、惣開、新居浜、船木、宮西、垣生、土曜寺子屋)						
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域社会の中で、子どもの安全な居場所を確保するとともに、さまざまな体験活動を行うことで、子どもたちの生きる力を醸成する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		3,331	3,686	3,686	3,133	委託料 3,686		
財源	県・国支出金	2,177	2,457	2,457	2,068			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	1,154	1,229	1,229	1,065			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
事業参加者数(延べ)			目標値	8000	8000	8000	8000	8000
			実績	11488	6707	1500	5951	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	統合する					
新型コロナウイルス感染症による臨時休業により事業開始が6月からとなり、8月13日からは再度感染対策期に移行したことから事業が休止となった。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
放課後における居場所の確保と体験交流活動の充実に向けた環境整備やプログラムの充実を図る。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
地域社会で子どもを育む視点から、住民参加による放課後の安心・安全な子どもたちの身近な体験交流や学びの場を提供することができ、放課後の有意義な活動が実施できた。今後も引き続き、放課後児童クラブとの連携による共通プログラムの充実を図る。								